

γシクロデキストリン

CoQ10とR体α-リポ酸の
美肌作用を向上

シクロケム

シクロケム(東京都中
央区、〒03-5614-
7147)は、化粧品用
途のCoQ10をγCD
(シクロデキストリン)
で包接(分子カプセル化)
することで、肌への浸透
力を34倍と飛躍的に高め
る作用を確認している。

CoQ10配合化粧品に
大きな差別化が図れると
し、提案を強化する。
食品としてCoQ10-
γCD包接体を摂取した
場合、通常のCoQ10よ
りも吸収性が高くなるこ
と、化粧品への応用技術
を開発した。

人の細胞を培養した生
体膜モデルとしてヒト3
次元培養表皮を用いた実
験では、CoQ10-γC
D包接体を肌に塗布した
後、GZK2(グリチル
リチン酸ジカリウム)を
重ねて塗布することで、
表皮組織への取り込み量
が、通常のCoQ10と比
べて34倍強に高まった。
同じγシクロデキスト
リンで包接したR体α-
リポ酸も、サプリメント
向けの美肌素材として提
案している。

体内でインスリン抵抗
性を改善することで、体
内の糖を適切に代謝させ
ることで、肌コラー
ゲンの糖による架橋を抑
制する作用を持つ。
それによって、肌の弾
力性の向上が可能にな
る。

この糖代謝の際には、
αリポ酸が還元型のシヒ
ドロリポ酸に変化するた
め、生体内の酸化したヒ
タミンEやCoQ10など
の酸化物質を再生する
働きもある。

「老化遺伝子の鍵」と
呼ばれるNF-kB(エ
ヌエフカッパービー)の
活性を抑制して、シミュシ
ンFを改善作用があること
も確認、糖代謝や抗酸化
遺伝子へのアプローチと
いった点で差別化が可能
な美容素材として注目を
集めている。

news



今後も二桁成長目指す

10周年記念パーティー

シクロケム



寺尾啓二社長

各種シクロデキストリンを供給するシクロケム(東京都中央区、03・5614・7147)は、設立10周年を記念するパーティーを都内で開催した。

年商22億円、設立から11倍に

10年後の売上目標は64億円

売上高は、シクロケムグループとして、設立から11倍となる22億円に達し、年間成長率は27%となった。

10年後の売上目標を64億円とし、年間の成長率は10%程度を見込んでいる。

代表取締役社長・寺尾啓二氏は

あいさつで設立当初のエピソードなどを紹介し、「わずか4人でスタートした年商2億円のビジネスが、多くの素晴らしいパートナーに恵まれて、ここまで成長した。支えてくださった皆さまに心から感謝したい」と振り返った。

設立当初から支援を続けてきた純正化学専務執行役員・矢野徳男氏は、「寺尾氏が力説するシクロデキストリンの魅力と可能性に共感し、応援を続けてきた。『優れた商材』『研究とものづくりへの熱意』『人材』、この3点が成功のカギだと思ふ」と祝辞を述べた。

感慨深く語った。

ドイツ・ミュンヘンから来日した、シクロデキストリンの研究開発・製造元であるワックケーミー社のゲーハート・シュミット氏は祝辞の中で「日本での販売に苦戦して窮地に立たされたとき、リスクを負ってでも事業の建て直しに従事し、明るい未来を切り開いてくれた寺尾氏の勇氣と努力に心から感謝する」とこれまでの歴史を

パーティーには、国内外から約140人が参加した。とうもろこしデンプンを原料とする「シクロデキストリン(α、β、γの3種をラインアップ)」は、現在、健康食品や一般食品、加工食品、飲料、日用品など幅広い製品に採用されている。

最大の特徴は、その特殊な構造と優れた機能性だ。バケツ型の環状オリゴ

糖「シクロデキストリン(CD)」は、内側が親油性、外側が親水性という特殊な構造により、分子を取り込む「包接」作用や、取り込んだ分子を放出する「徐放」作用といった機能を持つ。

そのため、物質の安定化、生体利用率の向上、粘度調整、味や臭いのマスキング、粉末化などを実現する。

α-CDは難消化性で水溶性、γ-CDは消化性で水溶性といったように3種類のCDは異なる物性を有し、用途や目的に応じて選択が可能となっている。

寺尾氏はエビデンス研究を重ね、健康食品の原料と組み合わせること、ヘルスケアの分野にもその応用範囲を大きく広げること成功した。20周年に向け、さらなる研究の蓄積と応用分野の拡大を図る。